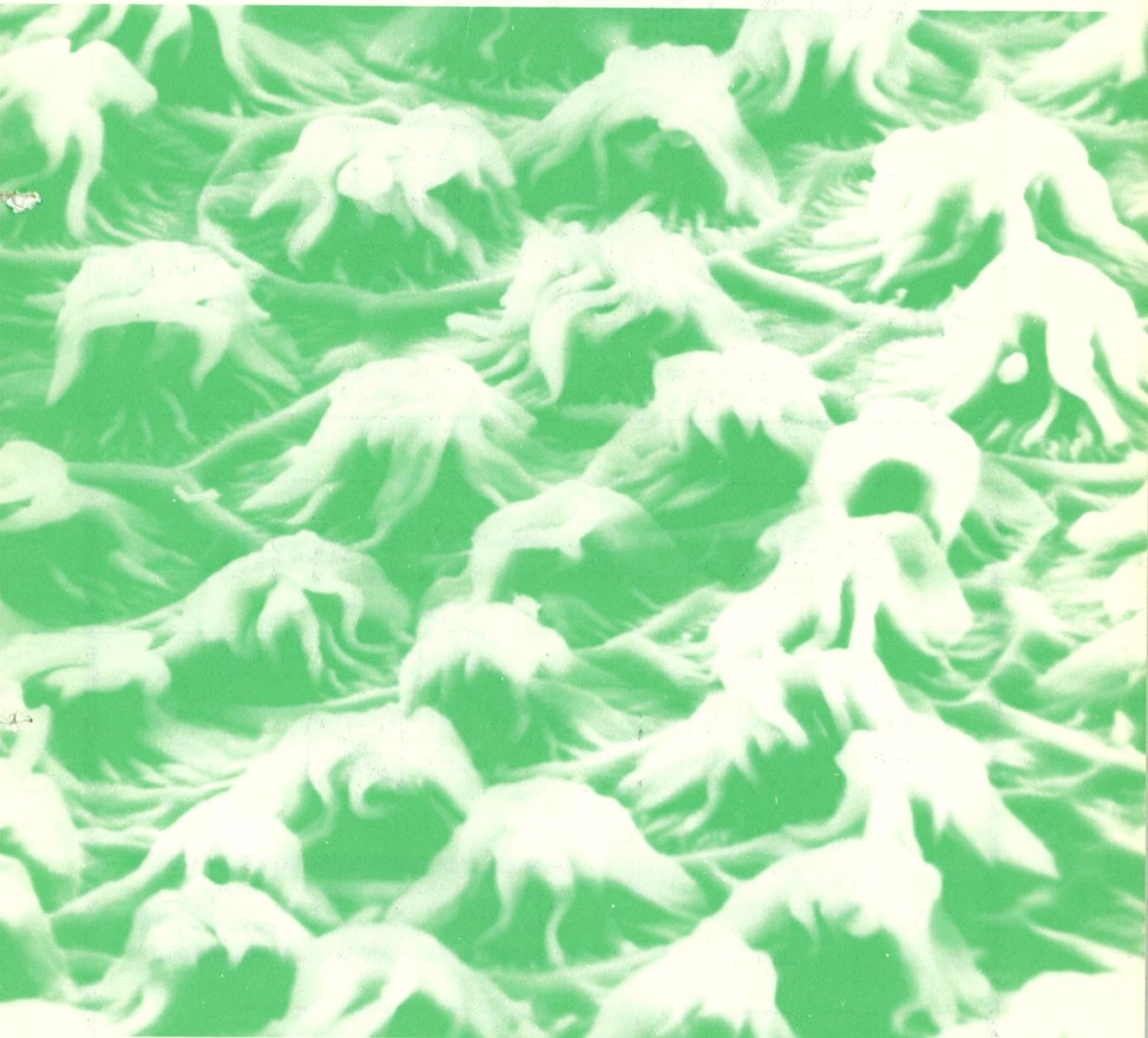


植調

第13卷第6号



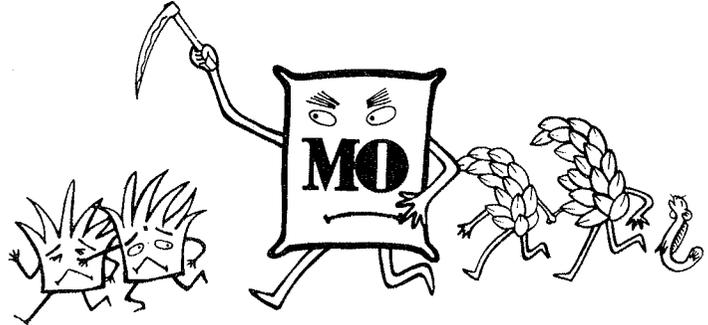
財団法人 日本植物調節剤研究協会編

安全でよく効く!

——水田除草剤——

MO粒剤-9

(CNP除草剤)



MO普及会

取扱会社 クミアイ化学、三共、北興化学、八洲化学、日本農薬、サンケイ化学、三井東圧農薬
事務局 東京都千代田区霞が関3-2-5 (霞が関ビル) 三井東圧化学株式会社内

効きめの長さで、5年間。

主流は抑草期間のより長いものへ——
機械移植栽培の普及とともに、水田初期除草剤は大きく変わりました。発売以来5年、エックスゴーニ粒剤はこうした時代の要求に的確に答えてきました。年ごとにご愛用者をふやし、信頼性をますます高めています。

®は日本農薬と石原産業の共有登録商標

信頼の輪をひろげる水田初期除草剤



○本剤のシンボルマークです

エックスゴーニ®粒剤

〈エックスゴーニ協議会〉



石原産業株式会社

〒102 東京都千代田区富士見2丁目10-30



日本農薬株式会社

〒103 東京都中央区日本橋1丁目2-5

資料請求券
エックスゴーニ
植調

情報 の 流れ

地方機関に在職10カ年間で、さまざま苦労させられたが、とくに身に沁みだ一つは、情報の流れ、洪水のような勢いとそしてその速度であった。昨春、退職後現在まで、ボツボツ記録をとりまとめているが、その一側面に情報の流れと対応の材料がある。たとえば、こんな事柄がある。全国の農業事情が変化してきた経過をふりかえる際、産業別所得比からみれば、全国総計値で、昭和8～12年頃と昭和30～33年頃が類似している。また、各県別・年代別に整理すれば、国内には15年を超える年代的な差があり、それぞれの県内では、この開きは顕著になる。この経過を理解するかどうか、情報の流れと遅速があると思っていた。この年代的・地域的なズレを理解していけば、技術を中心とした地方問題の対策化は、割とスムーズに進められたように思う。在職時、こんな話題ばかりしていると叱られるから、ごく時たま情報伝達速度資料を提供して、関係者の注意を呼び起していた。

植調北陸支部を担当してから、現役の人々が除草剤の研究・普及活動に、情熱を燃焼させている姿を考えながら、わずかでもよいから、何がしか報いたいと思ってきた。いわゆる資材化農業今後の中で、生態系的に、研究史的に、客観的な情報を遅くならず、しかも「地場」の問題として捉えられるかどうか、現役の人々が仲々とやれるように努めたい。

ただいま、本誌にのっている諸資料を注意深く、心楽しく眺めている。本誌が一層、情報伝達の旗手として成長されることを祈念する。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事 丸山 篤〕
北 陸 支 部 長

目 次 (第13巻第6号)

アメリカネナシカズラの生態と防除……2
〈埼玉県園芸試験場 古谷友男〉

1. は じ め に……………2
2. 種 類 の 同 定……………2
3. ネナシカズラ類の発生場所と
その被害の実態……………2
4. アメリカネナシカズラの寄生
草種……………5
5. アメリカネナシカズラ種子の
特性……………6
6. 防除法について……………6
7. む す び……………7

昭和53年度冬作(麦類・いぐさ・水
稲刈跡)関係除草剤試験成績概要……8

〈財団法人 日本植物調節剤研究協会〉

第1表 昭和53年度冬作関係除草
剤の有効成分および判定結果一覧
表……………8

第2表 昭和53年度冬作関係実用
化除草剤使用基準一覧表……………13

植調協会だより……………15

表紙写真説明

表紙の写真は、ナガエコナスビの種子
表皮細胞を走査電子顕微鏡で撮影した
もの；網目突起型×3800。

〔写真提供者；笠原安夫氏〕

アメリカネナシカズラの 生態と防除

埼玉県園芸試験場化学部 古谷友男

1. はじめに

ここ数年来、埼玉県内においてネナシカズラ類が発生し、その寄生による野菜・花きの被害が急激にふえて来た。そこで、その生態と防除法について農林水産省農事試験場畑作部中山研究室長、高林技官のご指導のもとに同研究室と共同で調査研究を開始した。その後の調査で、ネナシカズラ類の発生とその被害は埼玉県ばかりでなく全国的にみられ、問題視されていることがわかった。そこで、ネナシカズラ類の発生状態と被害の実態、および生態と防除法について研究を行った結果、いくつかの点があきらかになったので紹介する。

2. 種類の同定

1970年頃より東京を中心に各地の河原（河川敷）、堤防、海浜などにハマネナシカズラ (*Cuscuta chinensis* Lam.) あるいはマメダオシ (*C. australis* R. Brwn) に類似した寄生植物が発生していた。これについて、浅井康宏氏は1975年にアメリカネナシカズラ (*Cuscuta pentagona* Engelman) と命名した。そこで、筆者らは埼玉県で発生した農家より採取したネナシカズラ類を、栽培したポットマムに寄生させ育成したものを浅井氏に鑑定を依頼した結果、アメリカネナシカズラと同定された。同種は、ネナシカズラ属 (*Cuscuta*) の一種で、一年生寄生植物で毎年種子から発芽、生育

する。茎は無毛で太さは1mm内外、淡黄～淡黄赤色で葉はない。寄主に巻きつき寄主に接した部分には、小さな吸盤（寄生根）が形成され、寄生植物の養分を吸収する。寄主に寄生すると、根は間もなく土からはなれる。そして、初夏から秋にかけて茎のところどころに短柄のある総状花穂を形成し、細花を塊状につける。花は白色をおびたクリーム色で直径3mm、“かく”は浅く5裂、裂片は先が丸く花弁も5裂、雄ずい5個、雌ずい1個、花柱は2個で柱頭部は2～3mm、種子1mm内外である。そして、結実枯死する。これが野外での一般的な生育であるが、ガラス室やビニールハウス内など、冬季でも温度の確保できる場所では時期を選ばず、生育・開花・結実する。また、伸長する茎の先端を切断して寄主に接しておけば、ただちにまきつき、吸盤ができて寄主の養分を吸収、伸長を開始するなど、一度寄生すると非常におう盛な繁殖力を示す。

3. ネナシカズラ類の発生場所とその被害の実態

以上のように、繁殖力のおう盛なことからみて、おそらく全国的に発生があると思われるので、1977年春に農林水産省農事試験場が全国の農業改良普及所に新規帰化植物も含めて、アンケートを行ったところ、ネナシカズラの発生があるとの回答が40カ所見られた。このように、

発生箇所：40

発生の多い県

：岐阜(6), 埼玉(5)

宮城(4), 福岡(4)

寄生した作物：13

寄生の多かった作物名

：ナス(6), 菊(5)

ネギ(4), スイカ(3)



(沖縄県：発生場所なし)

(1977.)

第1図 全国におけるネナシカズラ類の発生場所

ネナシカズラ類の発生場所は、予想どおり全国各地にみられ(第1図・第1表), 特に大都市に近接する岐阜県・埼玉県・宮城県・福岡県に多くみられ, また, 被害のあった作物の種類は13で, 寄生の多かった作物は, ナス・キク・ネギ・スイカであった。また, アンケートをもとに埼玉県内の発生のみられた農家の聞きとり調査を1977年に行った。その結果は, 第2表のとおりで, その発生場所は施設(ビニールハウス・ガラス室)内が多く, 発生があった農家では, すべて牛ふんあるいは鶏ふんを利用してはいた。このことは, 雑草種子の作播になんらかの関連がありそうである。また, 1978年の調査では(第3表参照), 前回に加えて住宅の空

第1表 ネナシカズラ類の発生地と寄主作物

(1977.)

発生地帯 (農業改良普及所名)	発生場所		寄主作物	発生地帯 (農業改良普及所名)	発生場所		寄主作物
	露地	ハウス			露地	ハウス	
北海道・空知中央*	○		ナス	愛知・稲沢*	○	○	エダマメ, サンショ, ミツバ
〃・北後志*	-		ネギ	〃・田原*	○	○	キク, メロン
宮城・中新田*	○		キク	三重・松阪*	○	○	スイカ
〃・本吉	-		キク	和歌山・東牟婁*	○	○	ナス
〃・古川*		○	キク	京都・木津			ネギ
〃・大河原	-		キク	大阪・南河内*		トンネル	ナス
福島・岩瀬*			キク	兵庫・豊岡*			トマト
千葉・夷隅*	○		キク	〃・神戸*	○		キク
〃・印旛	-		ナス	広島・油木			キク
神奈川・横浜*		○	キク	鳥取・米子		-	キク
静岡・中遠*		○	ネギ, ダイズ	山口・荻		-	ナス, キク
新潟・南郷*			ナス, トマト	香川・小豆*	○	○	キク
岐阜・益田*		○	スイカ, キュウリ	愛媛・大州		-	キク
〃・可児*		○	トマト, ホウレンソウ	福岡・筑紫*	○		ネギ
〃・飛弾*		○		〃・糸島		-	キク
〃・土岐*	○			〃・嘉穂*	○		ネギ
〃・西南濃	-			〃・鞍手*		-	キク
〃・摂斐	-						

注) * : 寄主作物, 発生場所について回答のあった農業改良普及所 (埼玉県の浦和・行田・秩父・熊谷・飯能の5農業改良普及所については調査2で詳しく調査).

○ : 発生場所を示す.

- : 不明または回答なし.

第2表 埼玉県におけるネナシカズラ類の発生状況

(1975~77.)

農家名 (所在地)	発生 年次	発生場所	寄主作物	被害の状況	有機物の 施用*
A農家 (行田市)	50年	ガラス室	菊 (ポットマム)	30%寄生, 生育抑制, 開花せず, 市場性なし.	牛フン
B農家 (新座市)	51年	ガラス室	五色 トウガラシ	5株程度に寄生, 生育抑制, 着 果するが市場性なし.	牛フン
C農家 (朝霞市)	51年	露地	ニンジン	10%程度に寄生, 寄主作物生育 抑制.	牛フン
D農家 (日高市)	51年	ビニールハウス	メロン	5~10株に寄生, 生育抑制は小 さいが着果せず.	牛フン
E農家 (羽生市)	52年	ビニールハウス	ナス苗	300本程度に寄生, ナス苗生育 抑制, 販売不能.	牛フン 鶏フン
F農家 (大宮市)	52年	ビニールハウス 露地	ホウズキ (鉢)	10~20鉢に寄生, 生育抑制, 開 花・着果するが市場性なし.	牛フン
G農家 (新座市)	52年	ガラス室	ニチニチソウ (鉢)	20鉢程度に寄生, 生育抑制, 開 花するが市場性なし.	牛フン
H農家 (北本市)	52年	ビニールハウス	菊 (切花)	1本→10本くらいにまん延, 寄 生した株は開花せず.	鶏フン
I農家 (岡部町)	53年	ビニールハウス	ナス苗	10~20本に寄生, 発生中, 手取 除草を進める.	牛フン
J農家 (美里村)	53年	ビニールハウス	菊 (切花)	100本くらいに寄生, 寄生した 株は切り取り, 焼き捨てを指導.	牛フン

注). *印は当該作物を栽培する以前に施用したものを含む.

第3表 埼玉県におけるネナシカズラ類の発生状況

(1978.)

所在地	発生場所	寄主植物	被害の状況	有機物の 施用
越谷市(A)	公園内花壇	菊, シャクヤク, ニシキギ, サルビア.	約3.3m ² 全面被覆生育抑制	なし
〃(B)	住宅地空地	セイタカアワダチソウ, ヨモ ギ, アレチノギク.	約10m ² 雑草生育抑制	〃
飯能市	〃	雑草.	約3.3m ² 雑草生育抑制	〃
上尾市	道路空地 竹やぶ	ヨウシュヤマゴボウ, オオイ スタデ, ママコノシリヌグイ.	約10m ² 雑草生育抑制	〃
桶川市	露地	ステビア.	約30鉢生育抑制	牛フン 堆肥
深谷市	道路周辺	雑草.	ネナシカズラ類結実	
本庄市	利根川河川敷 (放牧)	牧草, 雑草.	ネナシカズラ類結実	
上里町	露地	切花用ヒマワリ.	約10m ² 切花影響なし	牛フン
〃	神奈川河川敷 (放牧)	牧草, 雑草.	ネナシカズラ類結実	

地, あるいは道路

予定地の放任地,
道路周辺などの雑
草への寄生が目立
ち, いわゆる非農
耕地への広がりを
みせている。また,
河川敷における牧
草などへの発生も
みられた。

以上の結果から,
ネナシカズラ類は,
ビニールハウスの
ような高温・多湿
の条件での発生が
多く, また一方寄
主作物については
生育が抑制され,
開花ならびに結実
が阻害され, 商品
価値が著しく低下
するか, 収穫不能
の状態にたち至る
場合が多かった。
いまのところ, 圃
場全域への広がり
はみられないが,
施設内ではいった
ん発生するとその
広がりの程度が早
く, また手取除草
を行っても吸盤な
どが残りやすいた
め, 完全除草がむ
ずかしい。とくに

早期発見が困難で、生育がかなりおう盛になってから発生に気づく状態なので、その後の防除がむずかしい。特に一個体でも好む寄主に寄生すると、驚くべき程度に茎を伸ばして、広面積にわたって蔓延する。

また、本種の侵入経路として、前記浅井氏らは、「北アメリカからの輸入穀物（コメ・ムギ・ダイズなど）や緑化あるいは砂防種子中の莢掘物種子に由来するものと思われる」と報告している。埼玉県内でもネナシカズラ類の発生があった農家は、すべて家畜ふんを利用していたこ

とから、県内の農家への伝播経路として、輸入飼料→家畜ふん→野菜・花き農家、のルートの可能性が大きいものと推察している。

4. アメリカネナシカズラの寄生草種

この種はかなりの作物に寄生すると思われたので、その確認を行った。すなわち、夏咲性草花・宿根草・球根類、そ菜類（果菜・根菜・葉菜）、および畑雑草に対して寄生の有無、寄生後の繁殖程度ならびに寄生された作物の生育状況について観察調査した。その結果（第4表、

第4表 夏咲き花き類および夏野菜に対するアメリカネナシカズラの寄生 (1977)

科名	種類名	草たけ 7月1日	同左無処 理区比	開花状況 7月1日	寄生の 程度	備考
キク科	ヒマワリ	88.4 ^{センチ}	98.7%	- (-)	○	無処理区開花
	コスモス	61.4 ^{メートル}	75.1	- (+)	◎	
	百日草	22.0	76.4	+ (+)	○	
	マリーゴールド	27.0	92.5	+ (+)	△	
	アスター	18.8	83.9	- (-)	◎	
	ダリア	37.0	74.3	+ (+)	◎	
	菊	34.0	59.0	- (-)	◎	
ウリ科	レタス	20.0	68.0	- (-)	◎	商品性なし
	キュウリ	34.8	44.7	+ (+)	◎	
ナス科	ホウズキ	14.2	44.4	+ (+)	◎	商品性なし
	トマト	34.6	81.6	+ (+)	△	
	ナス	17.0	68.0	+ (+)	◎	
シソ科	サルビア	27.4	67.8	+ (+)	◎	商品性なし
	アサガオ	65.0	84.4	- (-)	△	
キョウチクトウ科	日々草	16.2	85.3	- (-)	◎	商品性なし
セリ科	三寸人参	24.3	74.5	- (-)	◎	
ツリフネソウ科	ホウセンカ	24.0	87.0	+ (+)	◎	
アオイ科	ホリホック	17.4	70.7	- (-)	◎	
	(タチアオイ)					
アブラナ科	コカブ	23.6	83.7	- (-)	◎	
	大根	24.6	89.1	- (-)	◎	
ヒユ科	ケイトウ	23.8	98.3	+ (+)	○	
アカザ科	ホウレン草	14.2	82.6	- (-)	◎	
	ツルムラサキ	17.4	44.6	+ (+)	◎	
ユリ科	ネギ	27.6	73.8	- (-)	◎	
	ニラ	16.2	75.0	- (-)	◎	

第5表)の中で、草花・そ菜ではよく寄生する草種（◎印）のうち、草丈の伸長抑制の大きい草種は、キュウリ・ホウズキ・ツルムラサキであった。一方、寄生しにくい草種は、マリーゴールド・トマト・アサガオであった。また畑雑草では、供試7種中よく寄生する草種は、オオイヌタデ・イヌビユの2種、寄生しない草種はイネ科のメヒシバ、カヤツリグサ科のカヤツリグサ・ハマスゲの3種であった。以上のように2～3の草種をのぞいてはほとんどに寄生するようであるが、その寄

注). 寄生の程度=◎：よく寄生する，○：寄生中程度，△：寄生しにくい。
開花状況=+：開花，-：開花せず。
カッコ内は無処理区の開花状況。

第5表 畑雑草に対するアメリカネナシカズラの寄生

(1977.)

科名	草種名	寄生の程度	生体重(グラム/10本)	
			寄生	無処理
タデ科	オオイヌタデ**	◎	29.0*	92.3
ヒユ科	イヌビユ	◎	95.0*	118.0
〃	ケイトウ(参考)	○	555.0*	507.0
ナス科	ワルナスビ	○	319.5*	244.0
キク科	ハキダメギク	○	189.5*	148.5
イネ科	メヒシバ	×	382.0	305.0
〃	陸稲(参考)	×	193.5	164.0
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	×	86.0	70.5
〃	ハマスゲ	×	545.0	423.0

注) 寄生の程度=◎:寄生し, 生育をおさえる, ○:寄生するが, 生育抑制はわずか, ×:寄生しない.

*印はネナシ寄生のまま, **は3本枯死.

生の仕方にも強弱があり, いずれも生育を抑制するが, 開花抑制については草種により異なるようである。とくに開花を抑えられるものには草花類が多く, そ菜では果菜類はさほど抑えられなかったが, 作物の抑制のため, 正常な果実の収穫が阻害されるようである。

また, 同一の科内にあっても寄生の難易には幅があり, キク科ではキク, レタスにはよく寄生するが, マリーゴールドには寄生しにくく, ナス科ではナス・ホウズキにはよく寄生するが, トマトには寄生しなかった。

5. アメリカネナシカズラ種子の特性

次に種子の特性を知るために2,3の実験を行った, 先ず発芽性を調査したところ, シヤレー内で25~35℃の恒温, 30~20℃の変温, いずれの場合でも大差のない発芽率を示し, また暗条件でも発芽することから, 光要求性は少ないものと判断された。また, シヤレーに置床後, 8カ月間にわたり散発的に発芽するものも認めた。このように, 25℃前後の気温があれば発芽は可能であり, 光にも関係なくさらに一斉に発芽せず, だらだらと長期間にわたって発芽するよう

である。また長期野外に種子を放置しても翌春発芽することから, かなり低温にも耐え得ると判断され, 比較に用いたメヒシバに比べて低温での発芽性が大きかった。さらに前述のように長期間にわたって発芽することから, 1種の硬実ではなかろうかと考え, 濃硫酸処理を検討したところ, 30分浸漬により発芽率は5日目まで50%以上を示し, 発芽促進効果のあることが判明し, 確認できた。

6. 防除法について

初期防除の対策の1つとして, 殺種子効果を検討したが, その方法として先ずクロルピクリン(5ml/30cm²), 臭化メチル(500g/1.2m³)を用いて, 土壌中に種子を置き, 7日間くん蒸した後, 発芽を調査したところ, その効果は小さく, 比較に供した1年生雑草種子はすべて死滅していることから, 土壌くん蒸剤の利用はほとんど不可能と思われる。このように, 土壌くん蒸剤の効果が認められなかったので, 次の手段として土壌の蒸気消毒(100℃1時間)と, オートクレーブ処理(105℃1kg/cm²30分)を行ったところ, 種子は完全に発芽力を失っていた。したがって, アメリカネナシカズラの殺種子の方法として, 鉢物床土および床土の蒸気消毒の効果が高いようである。しかし, 種子の高温に対する耐性を検討したところ, 55℃の定温器に3日間では, 対照区と大差ない発芽率を示したが, 70℃の5日間では全く発芽しなかった。したがって, 蒸気消毒でも蒸気の及びにくい死角が生じた場合, あるいは牛糞などの堆積による醗酵などでも不完全な場合は, 本種の種子は生き残る可能性のあることが推察された。

また初期防除の一つの方法として, 種子の発

第6表 土壤処理による発芽および生育

(1979.)

生の多いと推

薬 剂 名	薬量 (a 当り)	発芽数	5 日後 (薬害)	10 日後 (薬害)	15 日後
無 処 理	—	++++	—	— 伸長始め	寄生始める
ジフェナミド水和剤	50 g	++++	—+	+ 伸長始め	寄生始める
トリフルラリン乳剤	30ml	+++	++	++ 生育抑制	—
N T N -80水和剤	80 g	+++	++	+++ 伸長停止	—
S -28乳剤	60ml	+++	++	+++ 枯れ始める	—
S A P -水和剤	80ml	+++	++	+++ } 全株枯死	—
S A P ・プロメトリン乳剤	80ml	—+	—++	+++ } 全株枯死	—

察される、ネギ・キク・ナスについて検討した結果、ネギに対してはSAP・プロメトリン乳

芽抑制をねらい、除草剤による播種後土壤処理の効果を検討した(第6表)。その結果、ジフェナミド水和剤は、発芽数も無処理区に比較して差がみられず、発芽後の「つる」の伸長も順調で、10~15日頃より寄主ならびに他の雑草への寄生が始まった。その他の薬剤は、各処理区とも無処理区に比べて発芽数が少くなっており、明らかに発芽抑制効果があり、その効果は、SAP・プロメトリン乳剤>SAP水和剤>S-28乳剤>NTN-80水和剤であった。発芽後の生育も抑制され、SAP・プロメトリン乳剤、SAP水和剤では、処理後10日目で全株枯死し、S-28乳剤、NTN-80水和剤でも10日目で1部枯死株がみられ、15日目では全株枯死するに至った。このように、土壤処理で十分効果のみられる薬剤が確認された。しかしながら、実際の栽培では個々の作物に対する薬剤の選択性を考慮に入れなければならない、また前述した如く、種子の発芽が長期にわたることから、薬剤の効果消失後の発生のことも考えられ、利用に当っては、かなり制約が加えられそうである。

次に生育中の作物に寄生した場合の防除が実際の面では重要と思われたので、生育期処理の検討を行ったが、寄主に影響をあたえないで寄生雑草を防除するという処理方法なので、作物ごとに検討を行わなければならない、このため、充分な検討を行なえなかったが、とりあえず寄

剤、キクに対してはS-28乳剤、ナスに対してはSAP水和剤の効果が確認された。その他の薬剤についても若干行ったが、いずれも寄主に薬害を起こすものが多く、今後の課題として残された。

しかし、さしあたっての防除の実際的方法としては、アメリカネナシカズラ種子の作物種子への混入(とくにマメ類・牧草類などの比較的小粒の種子)を防ぐことが必要であり、その対策としては、雑草の結実を防ぐことがもっとも重要であると思われる。

また、一番てっとり早い除草法としては、除草剤の利用であるが、雑草の発芽期の防除は、早期発見がむずかしいなど、なかなか適切には行われず、いきおい雑草の生育期の防除になるが、これについても前述のように、寄主である作物が薬品に対してどんな影響をうけるか、寄主に害を与えないで雑草に効果のある薬剤を選定しなければならないなど、種々の問題をかゝえており、今後作物別の薬剤選定が急務と思われる。

7. む す び

以上のように調査の結果を含めて述べてみたが、いずれにしても資料が少なく、なんともいえないが、種子の生態・生育の状態などからみて、一度発生すると防除の困難な雑草の一つと

みてよいであろうし、数字の上ではでてこないが、かなりの発生があるとみられ、新しい帰化

雑草として国内に定着する要素は充分と思われるので、今後の研究を進めたい。

昭和53年度冬作(麦類・いぐさ・水稻刈跡) 関係除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和53年度冬作関係除草剤の作用性および適用性試験成績検討会は、8月28日、国立教育会館(東京)において開催した。

本年度の供試薬剤はのべ40薬剤で、作用性試験として8点、適用性試験はのべ138点が実施された。

また、水田裏作麦類用既登録除草剤の最近の

栽培法に於ける見直しを含めた連絡試験も同時に実施したが、これは4場所で5薬剤が供試された。

供試薬剤の成分は第1表に示す通りである。

検討会は、各薬剤別に試験結果の報告、検討ののち、実用化に対する判定を行ない、同日公表したが、その概要をここに報告する。

第1表 昭和53年度冬作関係除草剤の有効成分および判定結果一覧表

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由および内容
麦類 (1) 小麦	1). HOK-15	水和	・成分未公開	北興化学	作用性	—	
	2). S-28	乳	・0-エチル-0-(3-メチル-6-ニトロフェニル)-N-セカンダリーブチルホスホロチオアミデート:ブタミホス 50%	U-クレマート研究会	適用性	実・継	前年通りの使用基準で実用化可能。 今後、地域拡大、条件拡大の検討。
	3). HOK-7501	乳	・2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸S-エチル:フェノチオール 20%	北興化学	適用性	継	効果、薬害につき処理時期、処理量を配慮して再検討。
	4). B-3015・P	粒	・S-(4-クロルベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメイト:ベンチオカーブ 8% ・2-メチルメルカプト-4,6-ビスイソプロピルアミノ-S-トリアジン:プロメトリン 0.8%	クミアイ化学	適用性	実・継	前年通りの使用基準で実用化可能。 今後、地域拡大、条件拡大をはかる。

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由および内容
(1) 小麦 (つづき)	5). CAT・IPC	水和	<ul style="list-style-type: none"> 2-クロロ-4,6-ビスエチルアミノ-s-トリアジン: CAT 10% イソプロピル-N-(3-クロロフェニル)カーバメート: CI-IPC 30% 	日産化学	適用性	継	葉害を中心に再検討の要。
	6). SL-531	混合	<ul style="list-style-type: none"> C剤 45.8% B剤 50% 	石原産業	適用性	継	成分未公開。更に効果・葉害の検討を要す。
	7). MOUH	水和	<ul style="list-style-type: none"> 2,4,6-トリクロロ-4'-ニトロフェニルエーテル: CNP 50% 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチルウレア: リニユロン 10% 	三井東圧化学	適用性	実・継	前年通りの使用基準で実用化可能。今後、地域拡大をはかる。
	8). DBN	水和	<ul style="list-style-type: none"> 2,6-ジクロロベンゾニトリル 45% 	兼商	適用性	実・継	生育初期(スズメノテッポウ1.5Lまで)処理で暖地追加。新たに温暖地東部で播種後土壌処理の使用基準作成。
	9). DBN	粒	同上 1.0%	同上	適用性	実・継	暖地, 生育初期(スズメノテッポウ1.5Lまで)で実用化可能。更に効果確認, 地域拡大をはかる。
	10). AH-501	液	成分未公開	旭化成工業	適用性	継	成分未公開。
	11). KT-59	水和	成分未公開 50%	協和醗酵	適用性	継	広葉類に対する効果は認められる。成分未公開。
	12). SSH-42	乳	<ul style="list-style-type: none"> メチル-5-第3ブチルイソキサゾール-3-イル-カーバメート 40% 	塩野義製薬	適用性	継	葉害を中心に, 処理時期・処理量について再検討。
	13). トリフルラリン	粒	<ul style="list-style-type: none"> α, α, α-トリフルオロ-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-パラ- 	同上	適用性	実・継	温暖地東部, 暖地で播種後土壌処理で実用化可能。

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由および内容
(1) 小麦 (つづき)	13). トリフル ラリン (つづき)		トルイジン 2.5%				更に、効果確認、 適用地域の拡大をは かる。
	14). SL-532	混合	・A剤 24% ・B剤 50%	石原産業	適用性	継	成分未公開。
	15). SL-533	混合	・A剤 24% ・C剤 45.8%	同上	適用性	継	成分未公開。
	16). プタクロ ール	粒	・2-クロロ-2,6'-ジエ チル-N-(ブトキシメ チル)アセトアニリド: プタクロール 5.0%	マーシェッ ト普及会	適用性	継	広葉雑草に対する 問題、薬害など再検 討。
	17). MB-206	水和	・3-(3,4-ジクロロフ ェニル)-1-メトキシ -1-メチル尿素 50%	丸和バイオ ケミカル	適用性	継	更に効果・薬害の 検討要する。
(2) 大麦類	1). HOK-15	水和	・成分未公開	北興化学	作用性	—	
	2). S-28	乳	・ブタミホス 50%	U-クレマ ート研究会	適用性	実・継	前年通りの使用基 準で実用化。 更に、地域拡大、 条件の拡大をはかる。 (二条大麦)
	3). B-3015・ P	粒	・ベンチオカーブ 8% ・プロメトリン 0.8%	クミアイ化 学	適用性	実・継	裸麦に対して適用 性が認められた。 今後、地域拡大、 条件拡大をはかる。 (二条大麦、裸麦)
	4). ANK-553	乳	・N-(1-エチルプロピ ル)3,4-ジメチル-2, 6-ジニトロベンゼンア ミン 30%	ANK-研 究会	適用性	実・継	裸麦への適用性が 認められた。 更に地域拡大、条 件拡大をはかる。 (二条大麦、裸麦)
	5). CAT・IPC	水和	・CAT 10% ・CI-IPC 30%	日産化学	適用性	実・継	播種後土壌処理、 生育初期処理で温暖 地西部以西で実用化 可能。 今後、効果確認、 適用地域拡大をはか る。(二条大麦、裸 麦)
	6). MOUH	水和	・CNP	三井東圧化 学	適用性	継	裸麦への拡大可能。

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由および内容
(2)大麦類 (つづき)	6). MOUH (つづき)		・リニューロン 50% 10%				今後、地域拡大、 条件拡大をはかる。
	7). AH-501	液	・成分未公開	旭化成工業	適用性	継	成分未公開。
	8). KT-59	水和	・成分未公開 50%	協和醗酵	適用性	継	広葉雑草には有効、 成分未公開。
	9). SSH-42	乳	・イソキサム 50%	塩野義製薬	適用性	継	効果、薬害につき 更に検討を要する。
	10). トリフルラ リン	粒	・トリフルラリン 2.5%	同上	適用性	実・継	二条大麦に対して、 温暖地で適用性が認 められた。 今後、確認と適用 地域、条件の拡大を はかる。(二条大麦)
	11). DCMU	水和	・3-(3,4-ジクロルフ ェニル)-1,1-ジメチ ル尿素 78.5%	丸和バイオ ケミカル	適用性	継	薬害等更に検討。
	12). DBN	水和	・2,6-ジクロルベンゾ ニトリアル 45%	兼商	適用性	実・継	裸麦に対して適用 性が認められた。 今後、更に効果確 認、地域・条件拡大 をはかる。(二条大 麦、裸麦)
	13). DBN	粒	・同上	同上	適用性	実・継	温暖地西部で適用 性が認められた。 今後、適用条件・ 地域拡大をはかる。 (裸麦)
14). プタクロー ル	粒	・プタクロール 5%	マーシェッ ト普及会	適用性	継	更に検討を要する。	
(3) いぐさ	1). NK-049- S	粒	・3,3'-ジメチル-4-メ トキシベンゾフェノン： カヤメトン 8% ・2-メチルチオ-4,6- ビス(エチルアミノ)- s-トリアジン：SAP 3%	日本化薬	適用性	実・継	土壌処理(ノビエ 発生前4月上旬) で、温暖地西部に適 用性が認められた。 今後、ノビエに対 する効果確認と適用 地域・条件の拡大を はかる。
	2). NKB-1	粒	・3,3'-ジメチル-4-メ トキシベンゾフェノン：	日本化薬、 クミアイ化学	適用性	継	本年度は薬害もな く、効果も安定して

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由および内容
(3) いぐさ (つづき)	2). NKB-1 (つづき)		メトキシフェノン ・ S-(4-クロロベンジル)N,N-ジエチルチオカーバメート：ベンチオカーブ 5%				いるが、初年目でもあり、更に検討、確認する。
	3). OG-102	粒	・ 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2'-ジメチルプロピルアミノ)-s-トリアジン：ジメタメトリン 1.1% ・ S-(2-メチル-1-ピペリジル-カルボニルメチル)-0,0-ジ-n-プロピルジチオホスフェート：ピペロホス 4.4%	アピロサン・ワイダー普及会	適用性	継	除草効果は組み合わせ処理で高く、被害も問題がない。 今後、効果確認の検討が必要である。
(4) 水稲刈跡	1). NC-101・H	微粒	・成分未公開 (既知化合物混合)	日本カーリット	適用性 〔マツバイ(ミズガツリ)〕	継	更に処理時期、処理量の検討を要する。
	2). MCP・BAS	液	・ 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸ナトリウム：MCP (Na) 6% ・ 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジン-(4)-3H-オン-2,2-ジオキシドNa塩：ペンタゾン (Na) 30%	グラスジン普及会	適用性 〔ミズガツリ〕	実・継	温暖地東部が適用地域として追加。 今後、適用地域・条件拡大をはかる。
	3). MCP・BAS	液	・ MCP (Na) 6% ・ ペンタゾン (Na) 30%	同上	適用性 〔ホタルイ〕	継	1地域1点の試験であり、更に効果の確認と地域・条件拡大をはかる。
	4). GW-7	液	・ マレイン酸ヒドラジドコリン塩 58%	ヒロバートル研究会	適用性 〔ウリカワ〕	継	効果不足につき、更に処理時期・薬量の検討が必要。
	5). GW-7	液	・ 同上	同上	適用性 〔ミズガツリ〕	実・継	効果が変動。 今後、更に処理時期・処理量の検討。

対象作物	薬剤名	剤型	有効成分および含有率	委託会社	試験の種類	判定	判定理由および内容
(4) 水稲刈跡 (つづき)	6). GW-7	液	・マレイン酸ヒドラジドコ リン塩 58%	ヒロバトール研究会	適用性 〔オモ ダカ〕	実・継	前年通りの使用基準で実用化可能。

第2表 昭和53年度冬作関係実用化除草剤使用基準一覧表

区分	薬剤名	処理法	処理時期	使用量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
小麦	S-28乳	土壌処理	播種後	㊟ 30 ml / a	砂壤土 ~ 埴土	温暖地以西	1). 砕土・整地をていねいに行って散布する。 〔水田裏作〕
	B-3015・P粒	土壌処理	播種後	㊟ g / a 400 ~ 600	壤土~埴土	温暖地以西	1). 砕土・整地をていねいに行って散布する。 〔水田裏作〕
				㊟ g / a 300 ~ 400	砂 壤 土		
	生育初期 処 理	スズメノテ ッポウ1.5 葉期まで	㊟ g / a 300 ~ 500	壤土~埴土	温暖地西部 以西		
			㊟ g / a 300 ~ 400	砂 壤 土			
	MOUH水和	土壌処理	播種後	㊟ g / a 40 ~ 60	壤土~埴土	温暖地以西	1). 覆土が著しく浅い場合には、薬害が出やすいので注意する。 〔水田裏作〕
				㊟ g / a 40 ~ 50	砂 壤 土		
	DBN水和	土壌処理	播種後	㊟ g / a 20 ~ 25	壤土~埴土	温暖地東部	1). 砕土・整地をていねいに行い、均一散布に留意する。 2). イネ科一年生雑草優占圃場を対象とする。 〔水田裏作〕
		生育初期 処 理	スズメノテ ッポウ1.5 葉期まで	㊟ g / a 20 ~ 25	壤土~埴土 埴 土	温 暖 地 暖 地	
	DBN粒	生育初期 処 理	スズメノテ ッポウ1.5 葉期まで	㊟ g / a 500 ~ 600	埴 土	暖 地	1). 砕土・整地をていねいに行い、均一散布に留意する。 2). イネ科一年生雑草優占圃場を対象とする。 〔水田裏作〕
トリフルラリン 粒	土壌処理	播種後	㊟ g / a 400 ~ 500	砂壤土 ~ 埴土	温暖地東部	1). 砕土・整地をていねいに行い、均一散布に留意する。 〔水田裏作〕	
				壤土~埴土	暖 地		

区 分	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	適 用 地 帯	使 用 上 の 注 意
大 麦 類	S-28 乳	土壌処理	播 種 後	㊟ 30ml/a	砂壤土 ～埴土	温暖地以西	1). 覆土・整地をていねいに行って散布する。 2). 対象 (二条大麦) 〔水田裏作〕
	B-3015・P粒	土壌処理	播 種 後	㊟ g/a 400～500	壤土～埴土	温暖地以西	1). 砕土・整地をていねいに行って散布する。 2). 対象 (二条大麦・裸麦) 〔水田裏作〕
				㊟ 300g/a	砂 壤 土		
		生育初期 処 理	スズメノテ ッポウ1.5 葉期まで	㊟ g/a 300～500	壤土～埴土	温暖地西部 以西	
				㊟ g/a 300～400	砂 壤 土		
	ANK-553乳	土壌処理	播 種 後	㊟ ml/a 30～50	砂壤土 ～埴土	温暖地以西	1). 覆土が著しく浅い場合には、葉害が出易いので注意する。 2). 対象 (二条大麦・裸麦) 〔水田裏作〕
	CAT・IPO水和	土壌処理	播 種 後	㊟ g/a 20～30	壤土～埴土	温暖地西部	1). 砕土・整地をていねいに行って、著しく浅い覆土はさける。 2). 土壌の多湿な場合は使用をさける。 3). 対象 (二条大麦・裸麦) 〔水田裏作〕
				生育初期 処 理			
			㊟ g/a 20～30	埴壤土 ～埴土	暖 地		
MOUH 水和	土壌処理	播 種 後	㊟ g/a 40～60	壤土～埴土	温暖地以西	1). 覆土が著しく浅い場合には、葉害が出易いので注意する。 2). 対象 (二条大麦・裸麦) 〔水田裏作〕	
			㊟ g/a 40～50				砂 壤 土
トリフルラリン 粒	土壌処理	播 種 後	㊟ g/a 400～500	壤土～埴土	温暖地東部 暖 地	1). 砕土・整地・覆土をていねいに行って、均一散布に留意する。 2). 対象 (二条大麦) 〔水田裏作〕	
DBN 水和	土壌処理	播 種 後	㊟ g/a 20～25	壤土～埴土	温暖地西部	1). 砕土・覆土はていねいに行って、均一散布に留意する。 2). 対象 (二条大麦・裸麦) 〔水田裏作〕	
	生育初期 処 理	スズメノテ ッポウ1.5 葉期まで	㊟ g/a 20～25	壤土～埴土	温 暖 地		

区 分	薬 剤 名	処 理 法	処理時期	使 用 量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
大麦類 (つづき)	DBN 粒	生育初期 処 理	スズメノテ ッポウ1.5 葉期まで	⊕ g/a 500 ~ 600	壤土~埴土	温暖地西部	1). 砕土・覆土はてい ねいに行って、均一 散布に留意する。 2). 対象(裸麦) 〔水田裏作〕
いぐさ	NK-049・S粒	土壌処理	ノビエ発生 前(4月上 ~中旬)	⊕ g/a 400 ~ 500	埴 壤 土	温暖地西部	1). 冬雑草を有効除草 剤で防除した後使用 する。
水稲刈跡	MCP・BAS液	茎葉処理	水稲刈取後 塊基形成始 期(9月中 ~下旬)	⊕ ml/a 40 ~ 60	全 土 壤	温暖地東部 及び暖地の 早期栽培	1). 茎葉によく付着す るように散布する。 2). 対象(ミズガヤツ リ)。

註：1). アンダーライン(実線)は、本年度拡大された部分(なお、薬剤名のアンダーラインは、本年度はじめて
使用基準の作成されたもの)。

2). アンダーライン(点線)は、その1部が拡大されたもの。

植 調 協 会 だ よ り

◎ 第15回評議員会・常任評議員会開催す

昭和54年9月11日(火)、国立教育会館(東京都千代田区霞が関3-2-3)において、評議員109名中79名(委任状を含む)出席のもとに開催した。開会に際し、当協会吉沢専務理事が挨拶し、今回は特に重要な事項がないので、評議員会と常任評議員会を合同で開催した旨を述べ、全員の賛同を得た。ついで、議長の選任に入り、望月雅郎(住友化学工業)が議長に選任され、次の件につき審議の上、万場一致で可決された。

昭和54年度水稲・畑作関係除草剤試験展示圃成績地域検討会日程表

地域	期 日	会 議 日 程	開 催 場 所
関東・東山・東海地域	10月30日(火)	10:00 ~ 17:00 水稲関係(分科会) 畑作関係(分科会)	「クミアイ化学工業ビル」 5F大会議室 台東区池之端1の4の26 TEL 03(823)1701
	10月31日(水)	9:30 ~ 17:00 水稲関係(分科会) 展示圃関係(分科会)	

(1) 昭和55年度評議員会費については、前年通りの算定基準を用いることとして審議された結果、原案通り可決された。

(2) 続いて、次の事項につき報告された。

- ・ 昭和53年度事業報告および決算。
- ・ 昭和54年度事業計画および予算。
- ・ 植調会館・資料館の建設。
- ・ ブラジル植調の設立および予算。
- ・ 諸規程の一部改正。

◎ 会議開催日程のお知らせ

昭和54年度水稲・畑作関係除草剤第二次適用性試験および展示圃試験の成績検討会を、下記日程表により地域別に開催することになった。

地域	期 日	会 議 日 程	開 催 場 所
東北・北陸地域	11月 5日(月)	9:30 → 17:00 水 稲 関 係 (分科会) 畑 作 関 係 (分科会)	1. 水稲関係・展示圃関係 「農業共済会館」 仙台市上杉1の8の10 TEL 0222(25)6701 2. 畑作関係 「建設会館」(共済会館に隣接) 仙台市上杉1の4の20 TEL 0222(25)8851 ~8855
	11月 6日(火)	9:30 → 17:00 水 稲 関 係 (分科会) 展 示 圃 関 係 (分科会)	
北海道地域	11月 8日(木)	9:30 → 17:00 水 稲 関 係 (分科会) 畑 作 関 係 (分科会)	「自治会館」4F 札幌市中央区北4条西6丁目 TEL 011(241)9111
	11月 9日(金)	9:30 → 17:00 水 稲 関 係	
近畿・中国・四国地域	11月12日(月)	9:30 → 17:00 水 稲 関 係	「石原ビル」 大阪市西区江戸堀上通り1の11の2 TEL 06(444)1451
	11月13日(火)	9:30 → 17:00 水 稲 関 係 (分科会) 展 示 圃 関 係 (分科会)	
九州地域	11月15日(木)	9:30 → 17:00 水 稲 関 係 (分科会) 畑 作 関 係 (分科会)	「三鷹ホール」 福岡市博多区網場2の2 第1勸業ビル7階 TEL 092(291)8366
	11月16日(金)	9:30 → 17:00 水 稲 関 係 (分科会) 展 示 圃 関 係 (分科会)	

編 集 後 記

二百十日も無事に過ぎ、暑さも峠を越したせいか、本年流行の省エネロックも姿を消しはじめた。真夏の電力危機も何とか乗り切ったが、これから冬にかけて多量に消費される灯油の備蓄量の減少は、国民の生活に不安を投げかけざるを得ない。施設栽培による野菜類も灯油の値上がりの影響を受け、かなりの割高となるに違いない。しかし、灯油の入手が不可能になった場合、施設栽培農家は施設栽培を断念せざるを得なくなるであろう。したがって、これからは秋冬作野菜の存在価値が高まるが、消費者は自然条件下で栽培された野菜に頼らざるを得なく

なるであろう。何か、原始時代の生活に後ずさりする感もあるが、これが自然なのだ。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都港区虎ノ門一丁目17番1号
電話 東京(03)502-4188(代)

昭和54年9月発行

植調第13巻第6号

¥250(送料140)

編集人 日本植物調節剤研究協会専務理事 吉沢長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都港区愛宕1-2-2 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)436-3388番

実力ある 水田中期除草剤



●水田の中期除草に アピロサンはスイス国、チ・ガイギー・リミテッドの登録商標

アピロサン[®]粒剤

●広範囲の水田雑草に効果がきわめて優れた、実力のある中期除草剤です。

●水田雑草の総合防除に

ワイダー[®]粒剤

●1年生雑草と多年生雑草を同時に防除できる、水田雑草の総合防除剤です。

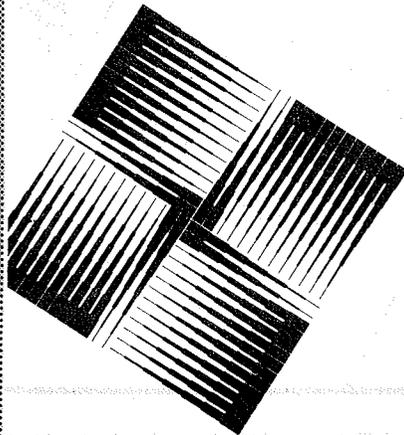
*アピロサン粒剤・ワイダー粒剤
ともに、低温時に使用しても薬
害の心配がなく安全です。

一目瞭然 効きめが見える

水田多年生雑草防除に

バサグラン[®]粒剤 水和剤

適用雑草 ●ミスガヤツリ・ホタルイ・ワリカワ・ヘラオモダカ・水田一年生広葉雑草



効きめと安全の信頼にこたえる



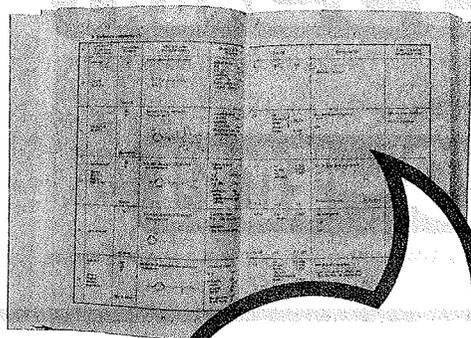
バサグラン普及会／
クミアイ化学工業・三共・
サンケイ化学・日本農薬・
北興化学工業・八洲化学工業
事務局＝住友化学工業
◎は西ドイツBASF社の登録商標です。

東京都中央区日本橋2丁目7番9号

SHORT REVIEW OF HERBICIDES 1978

● B5判 258ページ 定価4,000円 (送料200円)

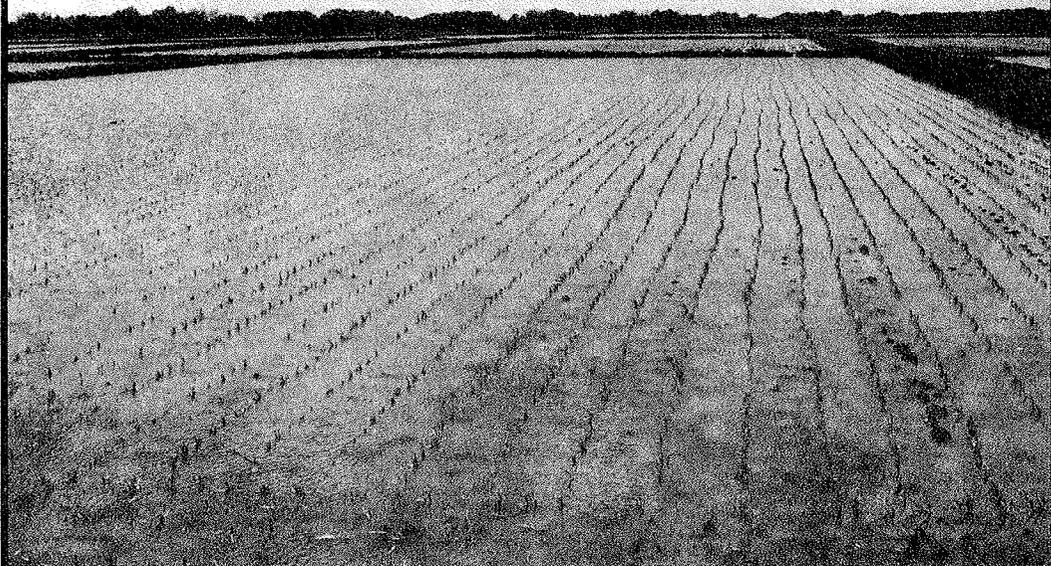
最新情報にもとづいた世界の除草剤500種の英文による基礎的データ集。
各剤について、名称、剤型、製造元、化学名、構造式、物理的・化学的性質、
毒性、適用、殺草作用、適用雑草を記載。



6. Carbamate compounds (7)					
No.	Common* & Trade name Code number	Formulation	Producer	Chemical name Structural formula	Chemical & Physical Properties
	ethiolate*		EC	S-ethyl diethylthiocarbamate $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{H}_3\text{C}_2-\text{N}-\text{C}-\text{S}-\text{C}_2\text{H}_5 \\ \\ \text{H}_3\text{C}_2 \end{array}$	yellow liquid b.p. 206 v.p. (25) 0.27 solubility; water (25) 0.328% highly soluble in most organic solvents.
30	S-6176 S-15076		Gulf-Oil EC G	S-benzyl N,N-di-sec-butylthiocarbamate $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{C}_6\text{H}_5-\text{CH}_2-\text{S}-\text{CN} \\ \quad \quad \\ \text{CH}_3 \quad \text{CH}_2\text{CH}_3 \quad \text{CH}_3 \end{array}$	colourless liquid v.p. (50) solubility; water (30) miscible in non-pol
			Drepamon M-3432		

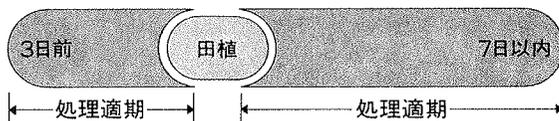
初めが肝心。

水田に一番最初に散布するマーシエツト粒剤5。



ヒエ、ホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカなどに高い効果をあらわすマーシエツト粒剤5。

そのすぐれた効果を存分に発揮させるには、雑草の発生前に散布することです。つまり散布のタイミングを適確に指導していただきたいのです。マーシエツト粒剤5は、イネと雑草との間に高い選択性があり、低温にも影響されにくいので、早めの散布でもイネには安全です。マーシエツト粒剤5、ぜひおすすめいただきたい水田初期除草剤です。



- ① 田植前3日から田植後7日以内の雑草発生前に必ず散布してください。
- ② 稚苗の場合は、田植後4日から7日以内に散布してください。
- ③ 田植の直後の散布は、なるべくさけてください。

水田初期除草剤の決め手



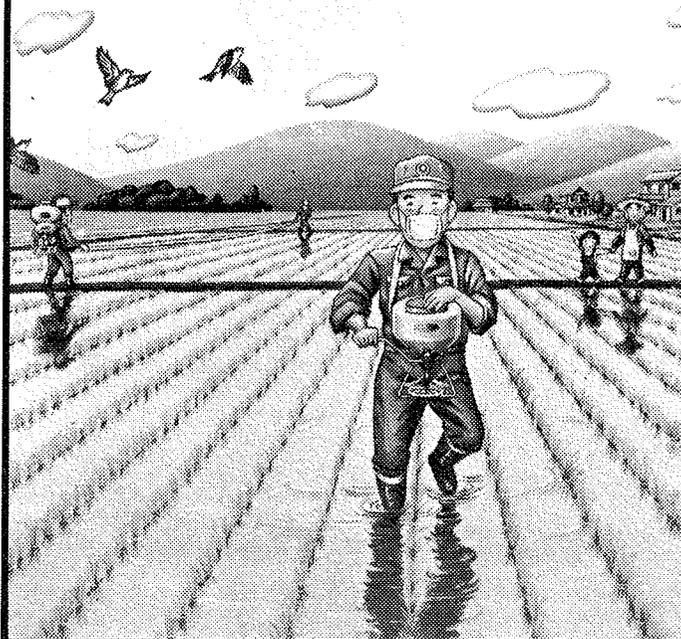
マーシエツト 粒剤5

®米田モンサント社登録商標

マーシエツト普及会 三共(株) 日本農薬(株) 北興化学工業(株) 事務局日本モンサント株式会社農薬部 〒100 東京都千代田区丸の内3-1-1国際ビル
Tel.(03)287-1251

資料請求
11 000001

雑草から稲を守る名コンビ。



雑草にわずらわされては、よい米づくりに打ちこむことはできません。水田の除草は、ことしもクミカにおまかせください。最大の勝負どころ田植前後の“初期除草”はショウロンM、そして、そのあとの“中期除草”はクミリードSM——どちらも手軽にまける粒剤です。クミカの息のあったコンビが、あなたの稲を雑草から守ります。

ノビエからホタルイまで
水田初期除草剤

ショウロンM 粒剤

1年生雑草から多年生雑草まで
水田中期除草剤

クミリードSM 粒剤

自然に学び自然を守る



農協・経済連・全農

クミアイ化学

■お問い合わせは…東京都台東区池之端1 4 26

マメット® 粒剤・マメットSM 粒剤を 安全にご使用いただくために

最近、水田に散布された除草剤が、となり合った野菜畑（特にウリ類・ピーマン・大豆など）に影響を及ぼすという問題が発生しておりますので、野菜畑に隣接した水田でのマメット粒剤・マメットSM粒剤の使用はさけるようご指導願います。

また、水稲除草剤によると見られる魚毒事故は全国的に安全使用対策がいきわたったため、以前より大幅に減ってきましたが、まだ皆無とはいえません。そのため、より一層の安全対策を徹底するため、関係機関の指導のもとに系統機関と協力し、自主規制地区の設定、農家に対する指導の徹底、養魚者との調整などにあたり、その事故防止に万全を期しておりますので、マメット粒剤・マメットSM粒剤の安全使用に対するご協力をお願い申し上げます。

—— モリネット普及会 ——